田原市立泉小学校　令和６年度５月号　　令和６年６月３日

泉小だより

清美 校訓

学校教育目標　心豊かでたくましい子　〇深く考える子　〇がんばりぬく子　〇助け合うやさしい子

元気MAX！やる気MAX！で「最高」の運動会

校長　小野　勇一

運動会を子どもたち自身の手でつくり上げるという経験をさせたいとの思いから、運動会のテーマを子どもたちから募集しました。集まった多くの案をもとに、児童会が中心となり、上記タイトルのスローガンへと練り上げられました。

開会式前のオープニングセレモニーでは、赤白それぞれから気合の込もった掛け声応援歌などのエールが運動場に響き渡りました。晴れやかな朝、子どもたちの元気いっぱいの歓声と凛々しい姿に、清々しい気持ちで胸が一杯になりました。

そして、運動会に華を添えていただいたのは、泉校区コミュニティ協議会の皆様から寄贈いただいた新しい入場門です。大きな直方体の側面には、斜めに赤白のラインが引かれ、正面には泉小の校章を飾っていただきました。ピカピカに輝く入場門。地域の方々のお気持ちに感謝し、これからも大切に使わせていただきます。

保育園・泉小学校の各種目には、多くの保護者の皆様に駆けつけていただき、子どもたちへ大きな声援を送っていただきました。ありがとうございました。

毎年恒例の「泉音頭」や「百万人のジャンケンポン」にも、多くの保護者・地域の皆様にご参加いただきました。「大人をたおせ！大玉送り」では、児童の完敗。来年は、事前に対策を立て、大人を倒してほしいです。ご参加、ありがとうございました。

最後の種目は、リニューアルされた「赤白対抗リレー」。昨年までは、選抜リレーでしたが、児童数減少に伴い、選抜選手が応援席の児童数より多くなるという状況が想定されたことから、思い切って全児童参加によるリレー競技へと改良しました。走る距離は１／４周、半周、１周の３種類があり、たてわり班ごとに作戦を立てて臨みました。当日は、全児童が参加をし、見事にバトンをつなぐことができました。最終種目で、白組が逆転をして、大接戦を制し、総合優勝となりました。

勝負は決しますが、赤白どちらも、どの学年の子も一生懸命練習をしました。高学年はよく働き、下級生を引っ張ることができました。低学年もとても大きな声で応援することができました。学校全体として、同じスローガンを意識して、心一つに力を合わせて頑張ったことが、何よりも素晴らしかったです。

― 家庭・地域のお力を得てこそ ―

運動会の大成功の裏側には、ＰＴＡ委員のお父さん・お母さん方、地域学校協働本部や地域の皆様のご協力がありました。

５／７、協働本部 With-me ゆめ支援部部長の小笠原扶久美さんと青少年健全育成委員の平井則章さんを講師に、５・６年生の児童を対象に泉音頭の練習会を行いました。音頭の振り付けを確認しながら踊るうちに、すぐに思い出したようです。また、泉音頭の歌詞の意味や地域で引き継がれてきた歴史などのお話もうかがい、ふるさとを知るよい機会となりました。

５／９、運動会に向けて環境整備作業を行いました。ＰＴＡ委員や協働本部の皆様にご協力いただき、校内の除草作業や松葉の収集、樹木の制定などを行っていただきました。協働本部会長の岩田大介さんには、伐採した木々を処分していただきました。全校児童は、運動場の草取りや石拾いを行いました。

５／１７、４～６年生の子どもたちは、ＰＴＡ委員の皆様のおカを借りて、運動会の前日準備を行いました。子どもたちは、係ごとに運動会の打合せや事前練習を中心に行いますので、会場準備は、大人のカなくては進められません。テントを５つ張り、机・椅子などを運搬し、入場門やロープなどの設営を行いました。

子どもたちが運動会でカいっぱい頑張ることができる環境づくりのためには、昔に比べて少ない現教職員だけでは手が足りていない状況です。こうした機会を通して、多くの大人が集結するカの大きさや価値を改めて感じました。ご協力いただき、本当にありがとうございました。

― 植物を大切に育てる心 ―

小学校では、植物の栽培活動を行います。理科や生活科の学習では、観察などを通して、植物の変化や成長等の様子をとらえ、植物のしくみや生命の連続性などを学びます。現在、アサガオやヒマワリ、ツルレイシの種を植え、発芽や葉を観察しています。また、夏野菜の苗を植え、毎日水やりを行い、成長を楽しみに栽培しています。これから、サツマイモのつるさし、畑への定植などを予定しています。こうした活動に際し、協働本部いのち見守り部部長の伊藤孝憲さんには大型トラクターで畑をきれいに耕していただきました。まなび応援部部長の石川和男さんにはサツマイモのつるを手配していただき、前ＰＴＡ会長の和田清一さんには肥料を提供していただきました。みなさんのお力添えに感謝いたします。

子どもたちは、植物の栽培を通して、自然を大切にする心を培い、粘り強く活動する態度や他者と関わりながら問題解決しようとする態度など、多くのこと学んでいくことができます。